



# 平成31年度 市長施政方針

昨年4月、まちづくりの長期的計画である第二次山陽小野田市総合計画がスタートしました。この計画では、「住みよい暮らしの創造」をまちづくりの基本理念とし、将来都市像「活力と笑顔あふれるまち」、キャッチフレーズ「スマイルシティ山陽小野田」を掲げました。

この総合計画の実現のため、平成31年度予算の編成作業に臨むに当たり大切にしたい2つの観点が 있습니다。それは、

- ・「協創」のまちづくりの理念の尊重
- ・第二次総合計画に掲げるスマイルUPの3本柱である重点プロジェクトの推進

まず、「協創」とは、「市民や地域団体をはじめとした各種団体、学校・大学、企業などのみなさまと行政がお互いの立場を尊重しながら、ともにまちをつくっていく取組」と考えております。山陽小野田市で生活や活動をされる方々、そして市職員のまちづくりに対する基本的姿勢として最も大切にしたい考え方であり、「スマイルシティ山陽小野田」の実現のために掲げる「大きな旗」といえるものです。そして、この「協創」の取組を通じて育まれるシビックプライドが多くの方々の心に芽生え、さらに多様な「協創」の取組が行われることが、「住みよい暮らしの創造」につながっていくものと考えています。

次に、重点プロジェクトには3本の柱がありますが、平成31年度は「子育て世代から選ばれるまち推進プロジェクト」の具体的施策のうち「子育て支援の充実」に、特に力を入れて取り組むたいと考えています。

平成30年度に、子育て支援に関する事業を整理し、「子育て いいね！ スマイルシティ山陽小野田～産んで安心 育てて安心～」というキャッチフレーズを定め、妊娠、出産から子育て期までの切れ目のない寄り添い支援に、庁内を横断的に連携して取り組んでいくことを改めて確認しました。

平成31年度も子育て総合支援センター「スマイルキッズ」の運営、一部の公立保育園への看護師配置、中学校へのタブレット端末の整備など、

継続、新規、織り交ぜながら事業を進めてまいります。

第2の重点プロジェクト「にぎわい・活力・地域資源活用プロジェクト」では、レノファ山口やパラサイクリングを契機とするスポーツの振興、かるたによる文化の振興のほか、山口東京理科大学との連携、創業支援、新規就農者支援などに取り組んでまいります。

第3の重点プロジェクト「まちの魅力発信向上プロジェクト」では、スマイルプランナー登録制度、ハロウィンイベントの開催、農産物のブランド化活動の支援、観光における市の魅力発信などに取り組んでまいります。

今年度からこの3本柱に加えて取り組んでいきたいと考えているのが、「スマイルエイジング」です。

「スマイルエイジング」は直訳すると、「笑顔で」「年を重ねる」となりますが、笑顔で年を重ねることができるまちを目指す取組の総称と捉えていただければと思います。構想としては、「知守（しるまもる）」「食事」「運動」「交流」の4つの基本項目を掲げ、庁内を横断的に連携して取り組んでまいります。

平成という時代がもうすぐ終わります。5月からの新しい時代を迎えるに当たり、これから市も変わっていかねばなりません。そのためにも、平成31年度は、「協創」のまちづくりによって、「これからの山陽小野田市の骨格をつくりあげていく」大切な一年だと考えます。

その一方で、どんな時代になっても変わらないもの、変わってはいけないものがあります。それは、「市民のみなさまの幸せ」です。6万3,000人の市民のみなさまが、「住みよい暮らし」を送ることができること、それが市の使命であることは言うまでもありません。「活力と笑顔あふれるまち スマイルシティ山陽小野田」の実現のために、強い志をもって市職員一丸となって臨んでまいります。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

3月市議会定例会の演説の概要